

平成29年の火災発生状況について

1 出火状況

(1) 出火件数は増加

平成29年1月から12月末までの火災は、70件発生しています。

構成市ごとに見ると、宇部市が51件、山陽小野田市が19件で、平成28年と比べ宇部市で9件、山陽小野田市で6件と共に増加しております。

(2) 建物火災は全火災の65.7%

火災を種別ごとに見ると、建物火災が46件と最も多く、次いでその他の火災が17件、車両火災が6件、林野火災が1件発生しています。

2 死傷者の状況

火災による死者は2人、負傷者は14人発生しました。構成市ごとに見ると宇部市が死者1人、負傷者11人、山陽小野田市が死者1人、負傷者3人でした。死者は、宇部市で発生した建物火災と山陽小野田市で発生したその他の火災によるもので、負傷者は、いずれも建物火災によるものです。

3 出火原因

主な出火原因は、たき火が16件、次いでたばこ、こんろがそれぞれ4件、煙突・煙道、焼却炉がそれぞれ3件、ストーブ、放火、排気管、電気機器がそれぞれ2件、配線器具、電気装置こたつ、火あそび、取灰、炉、風呂かまど、溶接機・切断機、放火の疑いがそれぞれ1件となっています。

4 その他

宇部・山陽小野田消防組合管内の住宅用火災警報器の設置率は89%となっています。(平成28年6月時点)

平成29年に住宅用火災警報器の奏功事例報告が5件あり、火災の発生件数は前年と比較し増加したものの、住宅用火災警報器を設置していたため、火災に至らずに済んでいる案件が増えています。出火原因の多くがたき火やたばこ等、人的要因によるものとなっており、火災を未然に防ぐため、火気を取り扱う際には十分な警戒と注意が必要です。

平成29年の奏功事例は、宇部市で12月に発生した建物火災で、住人が帰宅時、住宅用火災警報器の警報音に気づき隣人に助けを求め、消火器による初期消火等を実施し、ぼや程度に留まっています。

また、山陽小野田市では火災出動指令により消防隊が出動した事案がありましたが、住人が不在であったにも関わらず、近隣住人が住宅用火災警報器の警報音に気づき消防機関に早期に通報、火災には至らず、事なきを得ています。

平成29年火災発生状況

火災種別	件数	焼損面積 (m ² ・a)	損害額 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)
建物	46	2,915	198,821	1	14
林野	1	3a			
車両	6		12,733		
船舶					
航空機					
その他	17	7,006	742	1	
合計	70	9,921m ² 3a	212,296	2	14

火災原因別火災発生状況

火災原因	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計	損害額(千円)
たばこ	4						4	25,147
こんろ	4						4	5,568
かまど							0	
風呂かまど	1						1	399
炉	1						1	59
焼却炉	2					1	3	
ストーブ	2						2	31,075
こたつ	1						1	53
ボイラー							0	
煙突・煙道	3						3	5,192
排気管			2				2	10,731
電気機器	2						2	7,077
電気装置	1						1	1
電灯・電話等の配線							0	
内燃機関							0	
配線器具	1						1	
火あそび	1						1	
マッチ・ライター							0	
たき火	3	1	1			11	16	4,460
溶接機・溶断機			1				1	300
灯火							0	
衝突の火花							0	
取灰						1	1	
火入れ							0	
放火	1					1	2	505
放火の疑い			1				1	62
その他	8		1			2	11	35,889
不明・調査中	11					1	12	85,778
合計	46	1	6	0	0	17	70	212,296

※ 火災原因及び損害額について、すべての火災原因調査が完了していないため確定値ではありません。

平成29年火災発生状況

火災種別	件数	焼損面積 (m ² ・a)	損害額 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)
建物	32	2,169	192,590	1	11
林野	1	3a			
車両	5		12,433		
船舶					
航空機					
その他	13	2,717	738		
合計	51	4,886m ² 3a	205,761	1	11

火災原因別火災発生状況

火災原因	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計	損害額(千円)
たばこ	3						3	25,127
こんろ	3						3	5,565
かまど							0	
風呂かまど							0	
炉	1						1	59
焼却炉	2					1	3	
ストーブ	2						2	31,075
こたつ	1						1	53
ボイラー							0	
煙突・煙道	2						2	4,131
排気管			2				2	10,731
電気機器	1						1	7,075
電気装置	1						1	1
電灯・電話等の配線							0	
内燃機関							0	
配線器具	1						1	
火あそび	1						1	
マッチ・ライター							0	
たき火	2	1	1			8	12	4,182
溶接機・溶断機							0	
灯火							0	
衝突の火花							0	
取灰						1	1	
火入れ							0	
放火	1						1	505
放火の疑い			1				1	62
その他	5		1			2	8	34,894
不明・調査中	6					1	7	82,301
合計	32	1	5	0	0	13	51	205,761

※ 火災原因及び損害額について、すべての火災原因調査が完了していないため確定値ではありません。

平成29年火災発生状況

火災種別	件数	焼損面積 (m ² ・a)	損害額 (千円)	死者 (人)	負傷者 (人)
建物	14	746	6,231		3
林野					
車両	1		300		
船舶					
航空機					
その他	4	4,289	4	1	
合計	19	5,035	6,535	1	3

火災原因別火災発生状況

火災原因	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計	損害額(千円)
たばこ	1						1	20
こんろ	1						1	3
かまど							0	
風呂かまど	1						1	399
炉							0	
焼却炉							0	
ストーブ							0	
こたつ							0	
ボイラー							0	
煙突・煙道	1						1	1,061
排気管							0	
電気機器	1						1	2
電気装置							0	
電灯・電話等の配線							0	
内燃機関							0	
配線器具							0	
火あそび							0	
マッチ・ライター							0	
たき火	1					3	4	278
溶接機・溶断機			1				1	300
灯火							0	
衝突の火花							0	
取灰							0	
火入れ							0	
放火						1	1	
放火の疑い							0	
その他	3						3	995
不明・調査中	5						5	3,477
合計	14	0	1	0	0	4	19	6,535

※ 火災原因及び損害額について、すべての火災原因調査が完了していないため確定値ではありません。